

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	ボランティアセンター運営事業	会計名称	一般会計		担当課	福祉課	
		予算科目	3 款 1 項 1 目	事業番号	891	所属長名	河合 浩二
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	米湊 明弘	
法令根拠等	伊予市ボランティアセンター条例				実施期間	【開始】	平成 24 年度
総合計画での位置付け	健康福祉都市の創造 心の通った社会福祉の推進					【終了】	平成 年度(予定) ■ 設定なし
総合計画における本事業の役割	ボランティア活動の活性化及び円滑な推進を図り、誰もが安心して自分らしく暮らしながら、相互に支え合う思いやりのある地域づくりに寄与する。						
事業の対象	ボランティア活動をする市民、団体等			事業の目的	市民のボランティア活動に対する理解と関心を深めるとともに、ボランティアの育成及び活動の援助等を行うことによって、ボランティア活動の効果的な推進を図る。		
事業の内容 (整備内容)	ボランティア活動に関する相談・指導及び講座・研修等の開催並びに啓発活動。ボランティアセンターの運営及び維持管理。			昨年度の課題に対する具体的な改善策	ボランティアセンターは社会福祉協議会職員が兼務して運営しており、災害発生時には、事務局長以下、複数の職員でボランティアの受入や派遣に対応しなければならないことから、事務所の併用はやむをえないのではないかと考えている。併用するに当たって、今後の費用負担について、社会福祉協議会と協議を行った。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)						
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	27 年度実績	28 年度予定	9月末の実績	28 年度実績	
直接事業費	2,726	3,138	0	0	0	2,890	ボランティアセンター運営委託料	千円	825	810	405	810	
財源内訳													
国庫支出金		0	0	0	0	0							
県支出金		0	0	0	0	0							
地方債		0	0	0	0	0	ボランティア活動団体会員数	人	1177	1050	614	721	
その他		0	0	0	0	0							
一般財源	2,726	3,138	0	0	0	2,890							
職員の人工(にんく)数	0.03	0.03				0.03							
1人工当たりの人件費単価	8,042	8,086				8,086	ボランティア個人登録者数	人	31	50	25	38	
※ 直接事業費+人件費	2,967	3,381				3,133							
主な実施主体	直接実施		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		指定管理料								
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	5年間の合計			
					3,734	3,734	3,734	3,734	3,734	18,670			
成果指標	指標	ボランティア団体会員数・個人登録者数			単位	人	区分年度	27 年度	28 年度	29 年度	目標 毎 年度		
	指標設定の考え方	ボランティアの養成、確保など、地域福祉活動の担い手の育成支援を図る。			⇒	目標	900	1100	1100	1000			
	指標で表せない効果	ボランティア団体等に登録しなくとも地域のボランティア活動や見守り活動を行ってくださる方も多数いらっしゃる。こういった皆さんの支援が地域福祉を支える原動力になっている。				実績	1208	759					

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		費用負担について、庁舎管理担当課職員と協議を行った。費用額については、他の施設の状況を参考に試算を行い決定することとした。										
事業	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業成果・工夫した点 市民に対しボランティアセンターの活動紹介、ボランティアの募集や研修会の案内を行うなどとして、ボランティアへの参画を啓発した。 また、毎月開催しているばかりんサロンについては、参加者の意見を取り入れるなどして活動の幅を広げた。	事業の苦勞した点・課題	今年度は登録団体の解散により会員数が減少となった。今後もこのような事態は想定されるため、新たな団体加入や個人登録者の確保が必要と考える。 また、事業運営に対しては、指定管理者となっている社会福祉協議会が中心となり、ボランティア団体及び登録者がそれぞれの特色を活かした活動をしていかなければならない。		
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	4							
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。 市は関与しないで、民間や市民団体に委ねるべきである。 市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3							
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。	4							
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。 施策推進への貢献は多大である。	3							
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進につなげている。 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。	3							
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	4								
		コスト効率	5 4 3 2 1 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。	3								
		市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。	3								
	業	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D		A	事業の方向性	事業の方向性	■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 今後の地域福祉を支えていくために、地域ボランティアは欠かせない存在、活動であり、ボランティア団体を育成するなど、事業を継続していく必要がある。
				社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	4						
				市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。 市は関与しないで、民間や市民団体に委ねるべきである。 市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3						
有効性			事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。	4							
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。 施策推進への貢献は多大である。	3							
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進につなげている。 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。	3							
効率性		手段の最適性	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	3								
		コスト効率	5 4 3 2 1 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。	3								
		市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。	3								
評価		所属長	所属長	事業の方向性	5 4 3 2 1 災害ボランティア研修会について、民生委員や高齢者見守り員、防災士、自主防災会からの参加はあるものの、地域住民の参加は少数にとどまっている。災害ボランティアセンターの存在や役割を知ってもらうための啓発が必要である。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B	所属長の課題認識			
				事業の方向性	5 4 3 2 1 災害ボランティア研修会について、民生委員や高齢者見守り員、防災士、自主防災会からの参加はあるものの、地域住民の参加は少数にとどまっている。災害ボランティアセンターの存在や役割を知ってもらうための啓発が必要である。	3						

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 総合計画の基本施策を推進するに当たり、特に重要な事業と判断したため。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	<p>答申の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても大事な部署であるので、今後とも頑張ってください。 ・ボランティアは押し付け気味にされると、なかなか手はいない。ボランティア団体に登録していなくてもいろいろやっている方もいる。成果指標のように人数に固執してしまうと、大人数の団体を一つ入れればいいことになる。それよりも、この1年間にボランティアにこういうことをやってもらったという内容を列挙する方が分かりやすい。 ・直接事業費の光熱水費は、人数割という説明であった。まだ多い気がするので、引き続き適正にご尽力いただきたい。 ・災害ボランティア研修会は中学校や高校の防災教育と一緒にコラボし、生徒と一緒に学ぶ研修会を考えてはかがか。子どもが各家庭に持ち帰り話題にすれば、保護者も関心を持って、興味の裾野が少しずつ広がると思う。 ・指定管理者の社協には、自分たちのためでもあるのでもう少し身を切ってもいいのではと、厳しく言っていていいと思う。
------------	------	--

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性		コメント欄 社会福祉協議会に委託している事業である。大きな団体の解散によるボランティア活動の会員数が減少しているものの、事業そのものは必要な事業であるため、地域住民あるいは市民への計活等を十分に検討し、継続すること。
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	右記の点を見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を行う。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を行う。	